

今年度 事業名	福井鉄道福武線支援事業	事業コード 1502
来年度 事業名	福井鉄道福武線支援事業	

総合戦略 体系	421	安心で快適に暮らせるまちの創 造	幹線交通網の変化を見据えた二次交通 網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワ ークによる地域公共交通網の形成
------------	-----	---------------------	---------------------------	-------------------------------------

PLAN (計画)	部署名	総合交通課	開始年度	2008	終了年度	2022
	目的	地方鉄道である福井鉄道福武線の運行維持のため、県および沿線3市で行政支援を暫定的に実施し経営安定化に資する。				
	概要	昨年度に改定を行った福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画にもとづき、福井鉄道に対し平成30年度～令和4年度までの5年間で国・県が22.4億円、沿線3市で7.5億円の行政支援を行う。このうち沿線3市の助成は運行維持修繕費に当てられる。また、令和6年春の並行在来線運行開始を見据え、より魅力ある地域鉄道としての価値を見出し、利用促進へとつなげていくために、並行在来線やえちせん鉄道との共同事業や、企画切符など、事業連携のあり方を検討していくとともに、行政と沿線住民、市民団体が連携して地域の鉄道の利用促進を図るため、「福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議」の活動を支援する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
法令 根拠		実施 形態	現在	補助金等交付		
			内	運行維持費補助金 48,600千円・利用促進鯖江市民会議補助金 200千円 福井 鉄道福武線活性化連携協議会負担金 750千円		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
鯖江市内6駅利用者数	人	目標値					
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
鯖江市内6駅利用者数	人	目標値	520,000	520,000	520,000	520,000	520,000
		実績値	475,780	474,449	463,782		
計算 根拠		達成率	91.5	91.2	89.2		
		実数値					

ランク B B B

事業 要員	正規職員	0.1	ランク B、Cの 理由 消費税率改定に伴う運賃の値上げや暖冬の影響による電車利用への転換の不調、さらには新型コロナウイルス感染症拡大による学校臨時休校、外出自粛によって、10月以降前年度に比べ大幅に利用者減となった。
	臨時・嘱託		
	※所要時間	0	

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	41,950	109,550	49,550	49,550
決算額	41,950	109,550	49,550	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	2	1	8	603	福井鉄道福武線支援事業費	49,550	49,550
2							
3							
4							
5以降							
						合計	49,550

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

効 率 性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有 効 性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 13 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 維持

取組内容 改訂版福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画に基づき、市民、県、沿線市と協働を図りながら、引き続き利用促進や財政支援を行っていく。また、令和6年春の並行在来線運行開始後も地域住民の重要な公共交通として存続できるよう、まずは福井鉄道福武線とえちぜん鉄道の資材の共同調達や工事の一括発注などの段階的に事業連携を推進していく。

来年度へ向けて 前年度の実績 鯖江市内6駅の利用者数は前年度比約1万人減少したが、福井鉄道福武線全25駅では約5万5千人減少した。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 令和元年度における利用者減少の傾向は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年度も継続している状況にある。緊急事態宣言解除後の6月以降は徐々に回復してきている(前年度同月比7割~8割の利用者数)ものの、「他の交通手段への移行」や「シニア層の出控え」等により利用回復には相当の期間が必要と思われる。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点 平成30年度から令和4年度までの5年間の支援スキームに則り継続的な支援を行う中で、新型コロナウイルス感染症の影響下においても利用者が安心して利用できる環境整備や旅行者受け入れ環境整備を実施していく。

方向性⇒ 維持

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名 年度	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>
来年度 事業名 年度	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>

今年度 事業名	鯖江公共交通振興会運営補助事業	事業コード 1924
来年度 事業名	鯖江公共交通振興会運営補助事業	

総合戦略 体系	421	安心して快適に暮らせるまちの創 造	幹線交通網の変化を見据えた二次交通 網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワ ークによる地域公共交通網の形成
------------	-----	----------------------	---------------------------	-------------------------------------

PLAN (計画)	部署名	総合交通課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	鯖江公共交通振興会が実施する事業を通して、JR、福井鉄道、つつじバスなどの公共交通利用促進を図る。				
	概要	鯖江公共交通振興会運営(以下が主な活動内容)のための補助を行う。 ・サンダーバードで行く鯖江市民号の企画 ・JR西日本金沢支社への陳情 ・JRおよび福井鉄道利用促進事業の企画・運営 ・福鉄プレミア1日フリー乗車券を提示された方がつつじバス1日無料になる制度の支援				
	コロナ対応 の取組	令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、鯖江商工会議所と協議を行った結果、利用促進活動などの積極的実施を控えることとした。その結果、事業費が不要となったため、補助金執行を見送った。				
法令 根拠		実施 形態	現在	補助金等交付		
			内容	補助事業である。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
振興会事業実施回数		回	目標値					
			実績値					
計算 根拠	取組回数		達成率					
			実数値					
会員数		回	目標値					
			実績値					
計算 根拠	会員数		達成率					
			実数値					

■ 通常期の指標

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
会員数→振興会事業実施回数		回	目標値	105	135	135		
			実績値	135	114	119		
計算 根拠	会員数		達成率	128.6	84.4	88.2		
			実数値					
振興会事業実施回数		回	目標値				3	3
			実績値					
計算 根拠	取組回数		達成率					
			実数値					

ランク A B B

事業 要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	30

ランク B、Cの 理由	新規会員募集活動の不足
-------------------	-------------

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	500	500	500	500
決算額	500	500	500	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	2	1	8	602	地方鉄道維持費補助金等	8,035	500
2							
3							
4							
5以降							
						合計	500

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input checked="" type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5

①必要性 評価点数の合計 14 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 事務改善
取組内容 会への支援を継続しながら、令和6年春の北陸新幹線敦賀開業、並行在来線の運行開始や、同年開通を目指している冠山峠道路、また2027年の名古屋・東京間のリニア開通など、今後の幹線交通の変化を見据え、より有効な鉄道、バスの利用促進策を協議していく。

来年度へ向けて 前年度の実績 会員については、ほぼ前年度からの継続。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 令和2年度より成果指標を「振興会事業実施回数」に変更した。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通機関の利用促進活動実施も慎重に検討する必要がある。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点 鯖江市商工会議所と市民号実施の必要性などの実施事業の精査を行うとともに、振興会のあり方そのものについても検討する。

方向性⇒ 内容縮小

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	つつじバス運行事業	事業コード 2650
来年度 事業名	つつじバス運行事業	

総合戦略 体系	421	安心で快適に暮らせるまちの創 造	幹線交通網の変化を見据えた二次交通 網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワ ークによる地域公共交通網の形成
------------	-----	---------------------	---------------------------	-------------------------------------

PLAN (計画)	部署名	総合交通課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	高齢者、障がい者にもやさしい市民の足を確保する。 北陸新幹線敦賀開業時により幹線交通網が大きく変化するため、幹線交通網と二次交通網のネットワーク化を図り、より利便性の高い公共交通網を形成する。				
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス「つつじバス」を事業者に委託して運行する。 ・幹線交通網と二次交通網のネットワーク化の推進を図るため、「鯖江市地域公共交通活性化協議会」を設置し、「鯖江市地域公共交通網形成計画」ならびに「鯖江市地域公共交通再編実施計画」を策定し、通勤通学や東西間のスムーズな移動等市民ニーズに対応する。 ・福井鉄道路線バスの鯖浦線とつつじバスとの接続を強化し、通学需要への対応に加え、隣接する越前陶芸村や越前和紙の里などと市内産業観光施設等との連携も図る。 				
	コロナ対応 の取組	新型コロナウイルス感染症拡大にあっても、すべてのコミバスをダイヤ通りに運行を実施した。運行にあたっては、利用者が安全安心に利用できるよう抗ウイルス対策や消毒液等の設置、利用者への注意喚起のお知らせの掲示などを行った。				
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(全部)		
			内容	運行主体である市が民間乗合事業者に運行委託している。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
運行便数		便	目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
利用者数		人	目標値					
			実績値					
計算 根拠			達成率					
			実数値					

■ 通常期の指標

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
運行便数		便	目標値	20,840	21,435	21,503	21,503	21,503
			実績値	20,166	21,393	22,131		
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
利用者数		人	目標値	200,000	180,000	180,000	180,000	180,000
			実績値	136,976	143,579	137,233		
計算 根拠			達成率	68.5	79.8	76.2		
			実数値					

ランク C C C

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、C の理由
平成29年度より鯖江市地域公共交通再編実施計画に基づきフィーダー確保のためのダイヤ編成を継続的に実施しているため、利用者増のための大幅なダイヤ見直しなどを行えない。

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	124,017	118,109	121,098	115,537
決算額	123,777	116,998	117,228	

会計	一般会計
事業タイプ	補助(県)事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	8	202	コミュニティバス運行事業費	115,537	115,537	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	115,537

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1	市町生活交通維持支援事業費補助金	22,000
2	コミュニティバス利用者負担金	12,000
3	広告料収入	1,000
4	コミュニティバスフィーダー国庫補助金	14,939
5以降		
		合計 49,939

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効果性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒

取組内容 「鯖江市地域公共交通再編実施計画」に基づく運行を継続し利用者からの声を反映したダイヤの調整を行うとともに、コミバスと様々な事業・イベントとの連携、関係協力機関との共同PR活動など、企画研究、新しい情報発信・利用促進活動に努めていく。

来年度の実績 前年度の実績 暖冬の影響および新型コロナウイルス感染症の影響により1月以降大幅に利用者が減少し、対前年度比6千人強の減となった。

来年度へ向けて 前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
令和元年度における利用者減少の傾向は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年度も継続している状況にある。緊急事態宣言解除後の6月以降は徐々に回復してきている(前年度同月比7割~8割の利用者数)ものの、「他の交通手段への移行」や「シニア層の出控え」等により利用回復には相当の期間が必要と思われる。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
平成29年度より継続中の鯖江市地域公共交通再編実施計画に基づくフィーダー確保のためのダイヤ編成を実施していくが、利用者増のための大幅なダイヤ見直しなどを行えない。

方向性⇒

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

来年度 事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):